



103

〈目次〉

令和5年「会員の集い」	1
一高だより	3
第72期第50回代議員会	4
ムハマド・ユヌスさん講演	5
地域・職域等知道会	6

編集 知道会広報委員会
〒310-0011 水戸市三の丸3-10-1
茨城県立水戸第一高等学校内

発行人 稲葉節生

発行日 令和5年10月1日

通巻 第103号

H P www.chidokai.jp

メール chidokai_mito@chidokai.jp



令和5年知道会会員の集い(代議員会・講演会)を開催します

知道会の財産は「人」。世代を越えて交流し、懐かしい話や情報交換など、楽しい時間を過ごしましょう。
代議員会では高校生の海外派遣報告ほか、講演会には幹事学年である平成4年卒の2人が登壇します。
多くの方のご参加をお待ちしています。

〈令和5年「会員の集い」講演会〉



中崎恵美 (なかざき えみ)

講演 波乱万丈な女性の身体と私の人生

■プロフィール&ひとこと

平成4年卒。埼玉医科大学医学部卒。42歳で愛娘出産♡。翌年、渋谷区にemiスキンクリニック松濤開院。水戸一高では体育と英語以外は落ちこぼれ、目標もなく私立文系クラスに。一念発起して、医師を目指し浪人。医学部在学中に仕事と将来の家庭の両立を考えて皮膚科を選択。結婚&離婚(1.5回)・出産・開業

と目まぐるしい人生を送りながら、現在も仕事・子育てに奮闘中。女性は様々な体のライフステージがあり、それと付き合いながら仕事や家事を続けていくこと、また今後の更なる女性の活躍に期待して少しでも励みになればという思いと、皆様あまり親しみのない美容皮膚科なるものについてご紹介します。



塙 英敏 (はなわ ひでとし)

講演 一度きりの人生を、自分らしく生きる

■プロフィール&ひとこと

平成4年卒。千葉大学法学科卒。米国アラバマ大学政治学部卒。Oracle、Amazon、Microsoftなど大手外資系IT企業のエンタープライズ営業として25年のキャリアを積み、50歳の節目である今年(2023年)、エベレストベースキャンプに3週間籠り、人生の次なるチャレンジとし

て人材コンサルタントに転身。「一度きりの人生を後悔のないように生き抜く」を信条に、自分自身の、そして相対するクライアントの皆さまの心のワクワク羅針盤を大切に、強みを活かした転職や人生設計のご支援を続けている。講演家、登山家、ワイン醸造家、人材コンサルタント。

知道会 令和5年会員の集い

期日 令和5年11月18日(土)

場所 水戸京成ホテル2階「瑠璃の間」

日程 12:30 受付開始
13:00~14:00 代議員会
14:05~14:25 海外派遣研修報告(参加生徒による)
14:30~15:20 講演会
①中崎恵美氏(平成4年卒)
皮膚科・美容皮膚科医師
「波乱万丈な女性の身体と私の人生」
②塙 英敏氏(平成4年卒)
講演家、登山家、ワイン醸造家、人材コンサルタント
「一度きりの人生を、自分らしく生きる」

15:40~17:15 懇親会「ミニコンサート」
シンガーソングライター磯山 純氏(茨城高校を平成14年に卒業、早稲田大学卒業)

参加費 5,000円
※事前の参加費振込が必要です。
ただし卒業6年目=平成31年3月卒業以降の会員は参加費は無料にしています

こちらからも申し込みできます▶



●今回も無料の託児サービスを予定しています。
お申し込みなど詳細は知道会HPをご覧ください。

懇親会

会員の集い懇親会「ミニコンサート」



磯山 純 (いそやま じゅん)

◇内 容

高校1年生時に水戸駅で行ったストリートライブから音楽活動をはじめ、地元水戸はもちろん全国各地で精力的に活動をしているシンガーソングライターの磯山純さんがステージに登場！優しいメロディと歌声をお楽しみください！

◇出演者プロフィール

水戸市出身。茨城高校、早稲田大学卒。県民文化センター（ザ・ヒロサワ・シティ会館）でのワンマン

ライブを重ねながら活動の幅を広げ、千波湖1万人規模野外イベントを2016年、2017年、2019年と開催。2019年にはいきいき茨城ゆめ国体・大会イメージソングを制作し、天皇皇后両陛下の御前で歌唱。みとの魅力宣伝部長として、ライブ活動を行いながら、地域活性化への想いを込めて全国に茨城や水戸の名を広めている。

2025年5月25日に『千波湖で1万人規模の野外イベント開催』を目標に活動中。

【幹事学年 学年同窓会】 会員の集い幹事学年が集い 終了後に学年同窓会を開催 します

平成4年卒 学年同窓会

とうとう50歳。「令和5年知道会会員の集い」幹事学年として、2人の同期（中崎恵美さん、埴英敏くん）の講演と懇親会を開催します。ぜひご参加の上、昔話と近況報告に花を咲かせるとともに、新たな交流をはじめる機会にしませんか？

また新たに平成4年卒同窓会のLINEグループも立ち上げました。学年同窓会（もちろん2次会も）の情報もこちらで発信しますので、ぜひ登録、情報交換の場としてご利用ください！

日時 令和5年11月18日(土)



平成14年卒 学年同窓会

40歳の節目となる年に行う同窓会です。前回の同窓会では100名程の方にご参加頂きました。

対面で集まる機会が少ないこのご時世、懐かしい話や今の近況などを語り合いながら楽しい時間を過ごしましょう!!先生方にもお声掛けする予定です！

みんなと会えることを楽しみにしております!!

日時 令和5年11月18日(土)

場所 水戸京成ホテル

スケジュール

18時00分～20時00分（予定）

会費 6,000円

※会員の集いから参加される方は5,000円

【平成14年卒学年幹事】

33組 住谷直樹

36組 根本龍典

37組 鈴木由貴子

39組 七川雄一



平成24年卒 学年同窓会

皆さまお久しぶりです、お元気でしょうか。

水戸一高を卒業して早12年。今年は10年に1度の同窓会が開かれる年です。

多くの卒業生のご参加を幹事一同心よりお待ちしております。

日時 令和5年11月18日(土)

18時30分から

場所 水戸京成ホテル

会費 7,000円（当日受付にて）

会員の集いから参加される方は、学年同窓会の会費から2,000円割引となります。

申込方法

QRコードを読み取り、10月22日(日)までにGoogleフォームにてご報告ください。また、不参加の方も10年後以降の同窓会に向けて情報を入力していただくと幸いです。

<https://forms.gle/mLuhgZRfMcWdKP439>

お問い合わせ

tidoukaih24@gmail.com



年会費の納入に、スマホ決済もできるようになりました

コンビニエンスストアでの払込票に、スマホ決済用のバーコードが追加されました。PayPay、LINE Pay、au PAY、PayB を利用している方は、アプリを起動し、払込票下部のバーコードを読み込み、ご自宅ですべて完了することができます。

なお、現金でゆうちょ銀行の払込票をお使いの方は、通常の手数料の他に110円の手数料がかかるようになりました（2022年1月より）。

預金口座振替もできます。現在、「口座振替キャンペーン」として9月30日までに口座振替の手続きをして頂いた方を対象に、クオ・カード（1,000円）を進呈しております。

詳しくは事務局（029-226-3960月・水・金）にお問い合わせください。



学苑祭 4年ぶりに一般公開

6月17日(土)、18日(日)の両日に学苑祭が開催され、コロナ以降4年ぶりに制限なしの一般公開となった今年は2日間で約7,500人の来場者があり、大変な賑わいを見せました。

開催中～7月末まで、専用ホームページも設けられました。

青春映画のワンシーンの様な「学苑祭」に感動！

浅野茂生(昭59卒)

附属中3年生の皆さんが10月末にシンガポールに海外研修に行かれるにあたり、アジア知道会に現地での支援のご要請を頂いたことから、その打合せを兼ねて先日実にくしぶりに「学苑祭」にお邪魔させて頂きました。昔の「下駄箱」がポルトガルの「アンブレラ・スカイ」を彷彿とさせるカラフルな傘で彩られ、その向こうには40年前には全く信じられない数の女子生徒の皆さんが、各クラスや部活企画を紹介される華

やかな雰囲気にも圧倒されつつも、まるで青春映画の撮影現場に紛れ込んだ様な不思議な高揚感を感じました。加えて、揃いの緑色の法被に身を包んだ小さくて可愛い中1生から、大人びた高3生まで一緒に校内所狭しと動いておられる姿や、コロナ禍明け初めての外部受入制限なし開催で廊下はまさに「立錐の余地もない」程の大盛況ぶりに深い感動を覚えました。応接室(元校長室)で御厩校長先生から「中1は『自分の足下』、中2は『日本』そして中3では『世界』を学ぶ」という教育方針を伺いました。そこで「水戸一の道」を緑の法被の皆さんが自ら調べ外部のお客様にその解説と案内をし、中3の皆さんは「世界」を知る為に海外研修に旅立つのだと理解しました。特に今回の海外研修は一部の希望者ではなく同級生80名全員と一緒に現地で学ぶことに意義と素晴らしさを感じました。この学年は昨年東京での英語研修の際に東京知道会有志としてサポートをさせて頂いたご縁もあり、10月末にはアジア知道会としても全力で現地

支援をさせて頂きたいと思っております。
なお今年のアジア知道会も同研修に合わせる形で10月28日(土)シンガポールで開催されます。日本からご参加頂く皆様にもぜひ前日10月27日(金)から現地入りして、一緒に研修支援を頂ければと心から願っております。ご連絡は当方(下記メール)まで頂ければ幸いです。
連絡先: asanos917@gmail.com



始まりました、校内ガイドツアー「水戸一の道」

校長 御厩祐司



学苑祭でのガイドデビューを終えた生徒たち

附属中学校では、1年次に「茨城を知る」、2年次に「日本を知る」、3年次に「世界を知る」という形でテーマを設定し、探究活動を行ってきました。

さらに今年度より、「茨城を知る」以前に「足下を知る」ことが重要と考え、水戸城址にある自らの学び舎の歴史や

文化、自然等について探究し、その成果を校内ガイドツアー「水戸一の道」として公開する活動を始めたところです。

「水戸一の道」のお披露目の機会となったのが、6月の学苑祭。中学1年生たちは、お揃いの緑の法被に身を包み、幼児からお年寄りまで、多くのお客さまをご案内しました。

ふだんは薬医門付近以外、一般の方々には校内への立ち入りを禁止していますが、梅の時期などに数回は生徒によるガイドツアーの形で「御開帳」し、校内に残る貴重な歴史や文化、自然等を広く公開したいと考えています。

なお、中学1年生がツアー用に製作した「水戸一の道リーフレット」は、11月の「会員のつどい」でお配りする予定です。



校内の銅像をピカピカに磨いて準備



スタート地点は本城橋。土塁や堀、橋の歴史を詳しく解説



その分野に詳しいお客さまとの対話を通じ、さらに学びを深めます



稲葉会長にも校内に残る貴重な生態系などをガイド

このページでは、この夏、公式戦等で活躍した部活動および個人の紹介をします。

硬式野球部 第105回全国高等学校野球選手権茨城大会出場

2回戦 対水戸農業高校 6-3
3回戦 対多賀高校 1-0
4回戦 対霞ヶ浦高校
(Aシード) 1-8

知道会員の皆様方におかれましては、日頃より本校硬式野球部にご支援・ご声援を賜り厚く御礼申し上げます。第105回全国高等学校野球選手権記念茨城大会ですが、水戸農業に6-3、多賀高校に1-0で勝利してベスト16に進出し、4回戦でAシード霞ヶ浦高校に1-8で敗戦しました。今年の3年生はマネージャーを含め5人という少人数でしたが、誰一人欠けることなく最後までやり抜き、春夏連続でベスト16まで導いてくれました。新チームは経験者が多く残り、特色選抜組と一般入試組が融合して例年以上に力のあるチームです。結果にこだわり、悲願の甲子園出場を達成して必ずや「水戸一高」の名を全国に轟かせたいと思います。今後とも応援のほど宜しくお願いいたします。



2回戦



3回戦



4回戦

美術部 第47回全国高等学校総合文化祭 2023鹿児島総文 美術・工芸部門 出品参加

高木威(36)が、茨城県代表として、油絵作品を出品しました。昨年10月に水戸地区鑑別会にて、約200点の作品の中から上位2点が茨城県代表として選ばれました。12月から今回の展覧会に向けての制作を始め、今年のGWに完成した作品が、鹿児島市立美術館に展示されました。7月29日、30日におこなわ



出品作品

れた開会イベント、交流会に参加し、また全国レベルの作品を鑑賞し、今後につながる大変貴重な経験となりました。

放送部 第70回NHK杯全国高校放送コンテスト(7/25~7/27) 出場

4年ぶりに完全開催となった本大会にはアナウンス部門に2名、朗読部門に1名、テレビドキュメント部門に1作品が出場しました。残念ながら準決勝進出はなりませんでしたが、初出場の生徒には大きな刺激となりました。



出場者全員で記念撮影

放送部 第47回全国高等学校総合文化祭 2023鹿児島総文 放送部門(8/3~8/4) 参加

3年の堀野朝日香、2年の野中美佑が朗読部門とアナウンス部門にそれぞれ参加しました。堀野は高校最後の大会でベストの「読み」ができ、野中は緊張しつつも今持てる力を出し切っていました。



会場前で撮影(左が野中、右が堀野)

第72期第50回代議員会

日時 令和5年5月13日(土)
場所 知道会館2階会議室

(1) 第72期事業中間報告として、委員会活動と事業・地域・職域知道会の活動状況が河野幹事長

から報告され、了承されました。
(2) 第72期収支中間報告について、出澤財務委員長から報告され、了承されました。
(3) 140周年記念事業経過報告ならびに収支報告について、河野幹事長より報告され、了承され

ました。
(4) その他報告事項として、会員名簿(令和5年度版)発行の進捗状況について、河野幹事長から報告されました。

ノーベル平和賞受賞者 ムハマド・ユヌスさん(バングラデシュ)講演 令和5年7月12日(水) 水戸一高体育館 「私たちは世界を変える力を持っている」

それは目の前のたった一人を救いたい、から始まる

猛暑の中、クーラーのない体育館に集まった1,000人以上の生徒たちの前で、ユヌスさんは自身が設立した「グラミン銀行」について、その発端を語り出した。

「自分の目の前にいた、たった一人の困っている人を助けたかっただけなのです。彼女が貧困から抜け出すためにはどうしたらいいのか。1970年代後半、バングラデシュには高金利の銀行しかなく、貧困のためにお金を借りると、もっとひどい状態になるという問題がありました。

しかたなく自分のポケットマネーを貸しました。ポケットマネーだからとても少額。でも、彼女はとても喜んでくれて、貸した私もハッピーになりました。すぐに村中で話題となって、人気になってしまいました。とても私一人でお貸しすることはできない。そこで、私は銀行を作りました。最初はその村で。それはすぐに村外、国中へと広がり、結果的には世界に広がりました。※

私は次のことを学びました。大きな課題の解決には、まず自分のまわりの小さなことから始めることが大事だということ。最初は1人、2人という規模でよいのです」

貧困層を対象にした低利・無担保でお金を貸す「グラミン銀行」は、多くの人びとを救う。この「経済的および社会的発展を下から生み出す努力」に対して、2006年のノーベル平和賞がムハマド・ユヌス氏とグラミン銀行に共同で授与された。

他者のハッピーは、私のスーパーハッピー

ユヌスさんは続ける。

「失敗と成功は真逆のように思われますが、現実的にはそうでは

ありません。失敗と成功はコインの表と裏のようなもの。とても近くにある。失敗を恐れなくてください。失敗は人生においてとても大事なものです。失敗は失望ではなく学習です。失敗と成功を重ねながら、前に進むのです」

「人類にとって不可能はありません。これは何億年もかけて証明されてきました。人類は、海の方に行きたいと思い、海に出ることができた。空を飛ばたいと思って、空を飛べた。月に行きたいと思って、月に行けた。星に行きたいと願って、星に行こうとしている。最初のワンステップは『行きたい』と想像したこと。人類に不可能はないと信じてください」

最後、生徒から「ユヌスさんの

行動力のモチベーションは何ですか？」と質問があった。ユヌスさんは力強くこう答えた。

「私たちのソーシャルビジネスは、単に利益を追求することではなく、人の役に立つこと。多くの人へのインパクト（影響）を考えることです。人の役に立つことは、お金にはかえられません。それはいい意味で中毒的なものです。他者のハッピーを生み出すことは、私をスーパーハッピーにさせます。それが私の行動の原動力です」

※ユヌス氏は当時チッタゴン大学の経済学部長。同氏が始めた貧困救済プロジェクトは、1983年にバングラデシュ政府の法律により独立銀行となった。



英語で謝辞を伝える生徒会長 佐藤隼斗さん



水戸一高34年卒業さんし会

「さんし会」は昭和34年3月本高校を卒業した同窓会であります。

40才を契機に、本校知道会館が出来たので各クラスで行っていたクラス会を、全体で同窓会を毎年3月4日に開催しようと「さんし会」と命名して、知道会館で結成されました。申告会員は当初300名ほどあり毎年年会費も納入があり、同窓会も1年も欠かさず開催され600名ほど参加しておりました。東京にも私たち学年が「在京水中・一高会」の幹事としてサンケイ会館で開催を契機に「在京三四会」(現会長 大津光男君)が出来、毎年10月に開催されて30年続いております。水戸からも数名参加して毎回20数名の参加がありました。

新型コロナウイルスが日本上陸して、令和2年3月4日の「さんし会」は感染防止のため中止しておりました。本年3月4日は3年振りでした。この間亡くなった同窓生も多くあり、幹事会でも10人でも集まればいいやと思っていたのですが、34名の参加がありました。

ここ数年同窓会は昼間にしようと実施してまいりました。毎年水戸市内の名所古跡を、同窓生の但野正弘君にお願いしてガイドブックまで作成して、バスを貸し切り、朝から見学して午後は賑やかにパーティーをいたしてまいりました。

今年は再建された水戸城大手門前に集合して、角櫓や本校内の薬医門



集合写真



久しぶりのゴルフ

を見学しました。元気な仲間は年2回ゴルフを復活させました。毎回15、6名参加があり続いております。今年は4月7日に富士カントリー笠間コースで行われ10名の参加でした。皆さん同窓会で昔話に花を咲かせ元気をもったり、あげたりして楽しんでおります。今後も続けたいとの要望です。

同窓会代表幹事 湊 正雄(昭34卒)



大手門にて

古希を祝う学年同窓会2023 昭和47年水戸一高卒業生

7月22日(土)、ホテルレイクビュー水戸にて、卒業51周年同窓会を「古希を祝う学年同窓会2023」として開催しました。昨年50周年として開催したかったのですが、新型コロナの影響で今年になりました。当日の参加同窓生は40周年の時より1名多い134名。知道会からは稲葉節生会長にご臨席頂き、総勢135名の盛会でした。

会の前に記念撮影を行いました。何人かは、前列両脇に地座りしての撮影。開会の辞の後に、物故者31名への黙祷がありました。

歓談タイムでは、お互い名札を見て、確認し合うことから話が始まりましたが、そこかしこで、クラスの枠を超えて、盛り上がっていました。

昭和47年3月の全クラスの卒業写真がA3版一枚にまとめられ、配られました。とても懐かしかったです。会の計画、同窓生への連絡、資料の準備等々、幹事の皆さんありが



とうございました。また皆で集えることを楽しみにしています。

33組 宮内寿子(昭47卒)

昭和57年卒 還暦記念学年同窓会

令和5年8月19日(土)17時から、水戸駅前のホテルテラス・ザ・ガーデン水戸にて、学年同窓会を行いました。今回は還暦記念とあってできるだけ多くの同期に来てもらおうと、半年前から小澤光浩君を代表に実行委員会を結成し周到に準備を進め、結果、恩師4名と同期144名が一堂に会することができました。人数的に全員の自己紹介は難しいことから、WEB版記念文集を作成して事前にアップすると共に、会場内で卒業アルバム等をQRコードから見られるようにするといった、60歳とは思えぬテクニックも駆使。そのお陰もあって、より多くの仲間と語り合えたと思います。その後、2時間の1次会で終われるはずもなく多数の還暦組は楽しいお酒やカラオケへと流れていき、中には日付けをまたぐグループもちらほら。そしてこの元気を保ったまま、古稀記念同窓会での再会を誓ったのでした。

栗田真人(昭57卒)



令和3年卒学年同窓会

3月19日(日)、令和3年卒業生が20歳を迎えたことを記念する同窓会を執り行いました。発起から開催まで2か月余りと短い準備時間ではありましたが、知道会や学年幹事ほか多くの方々のご協力をいただき、無事三の丸ホテルにて開催に漕ぎ着けることが出来ました。

当日は知道会幹事長・河野秀幸様に乾杯のご発声をいただき、出席約160名を得て和やかな交流の集いとなりました。卒業後初めて同級生が一堂に会した機会であり、久しぶりに再会した皆さんの笑い声が会場の

あちこちから聞こえ、同窓会は大いに盛り上がりました。後半には、学年主任の吉富忠宏先生よりご挨拶をいただき、恩師の方々の近況についてのお話や激励のお言葉をいただきました。

最後は2年ぶりの校歌斉唱を行い、さらなる成長と再会を誓って散会となりました。

岩本蒼一（令3卒）



第72期 地域・職域活動状況

（令和4年10月1日～令和5年9月30日）
令和4年12月3日

西日本水一中高会総会・講演会
（オンライン開催）

令和5年2月25日

東京知道会「令和5年同窓の集い」
（サンケイプラザ）

4月9日

みつば知道会（双葉台市民センター）

5月27日

下市知道会（魚兼）

五軒知道会

（京成百貨店バンケットルーム）

5月28日

那珂知道会

（ふれあいセンターよしの）

6月17日

笠間知道会（旅館いなみ別館吉光庵）

6月22日

県庁知道会（三の丸ホテル）

6月25日

城里知道会

（コミュニティセンター城里）

7月2日

岩間知道会（かめや）

7月8日

常陽知道会（三の丸ホテル）

7月8日

友部知道会（そば処なが井）

7月9日

常陸太田知道会（割烹寿々木）

7月22日

鹿行知道会（サンロードかしま）

7月29日

土浦水中一高会

（L'AUBE 旧霞ヶ浦観光ホテル）

9月2日

新荘知道会（割烹 魚政）

9月9日

行餘学会（阿字ヶ浦クラブ）

常陽知道会が海外派遣プログラムに100万円を寄贈

常陽銀行社員で構成する常陽知道会（横山歩会長（昭61卒））が、生徒海外派遣プログラム支援のため水戸一高に対し100万円を寄贈しました。

6月の常陽知道会総会の折に稲葉会長、御厩校長から知道会の海外派遣プログラム支援について話を聞き、また昨今の円安や旅費高騰など海外派遣を取り巻く経済情勢の厳しさも考慮し、母校が今年創立145周年を迎えるのを機に寄贈を決めたものです。

8月28日（月）午後、横山会長と細谷幸永幹事（平17卒）が来校し、御厩祐司校長に目録を手渡しました。御厩校長からは生徒のために有効に使いたいと謝意が述べられました。



秋田高校創立150周年記念式典に出席

秋田県立秋田高校は明治6（1873）

年の設立から今年で創立150周年を迎え、このたび秋田市内で記念式典を挙行了しました。

秋田高校同窓会と知道会とは平成2（1990）年に姉妹提携を結んで以来30年以上にわたって交流を続けており、9月1日（金）の記念式典と祝賀会には知道会から稲葉会長、河野幹事長が出席しました。

12時30分から「あきた芸術劇場ミルハス」にて挙行された記念式典では式典に続いて秋田高校卒業生である橋本五郎氏（読売新聞特別編集委員）ほか3名と在校生徒代表によるシンポジウム、秋田高校吹奏楽部による記念演奏が行われ、17時30分から秋田キャッスルホテルにて開催された記念祝賀会には、来賓や県内外から数多くの卒業生が出席し盛会となりました。

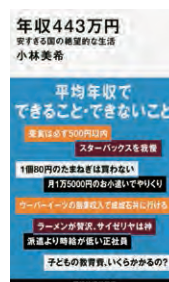
150周年記念事業のキャッチフレーズとロゴは広く在校生も含めて募集したもので、記念事業としては祝賀会のほかに150年史の編集、38人の同窓生を紹介する「新・先蹤録」の編纂、校歌に登場する太平山登山や雄物川強歩などのプレイベントや硬式野球招待試合など多くの事業が行われています。詳しくは秋田高校同窓会ホームページ（<https://akitahs-doso.jp/>）をご覧ください。



書籍紹介

年収443万円 —安すぎる国の絶望的な生活

小林美希（平6卒）著
講談社現代新書 2022年
968円（税込）



本書では平均年収では普通の暮らしができない国の現実が事例として紹介されている。中には世帯（夫婦）年収が一千万円でありながら贅沢ができない、将来の子供にかかる学費が不安と嘆く事例もリアルで紹介されている。根本には、非正規社員であるという身分や、ブラックな職場、最近のずさんな政府の対策に対する不満と不安があるようだ。国は何を期待されているかを知って欲しい、その一方で個人的には何ができるのか、考えるべきであろう。

総務委員会

総務委員会は令和5年会員の集い企画、実施にあたり、集い実行委員会を総務委員と平4年卒、平14年卒、平24年卒の幹事学年のメンバーで5月から月1回、知道会館にて開催しております。昨年度の会員の集いについておきましては、コロナ禍の影響で令和2年から中止されていた懇親会を3年ぶりに開催することができました。本年度におきましては、昨年以上に多くの会員の皆様にご参加いただき、盛大に会員の集いが開催できるよう、実行委員会一丸となって準備を進めているところです。詳細につきましては本号の記事をご覧ください。また、随時知道会ホームページにて最新情報を掲載していきます。

11月18日故郷水戸の地で、大先輩から若き会員まで、たくさんの皆様とお会いし交流、歓談できることを楽しみにしております。

財務委員会

知道会年会費で母校支援！

知道会の年会費は、本会の運営費のみならず母校支援にも使われております。皆様の年会費が後輩の学校生活の一助になる、素敵なおことですね。母校支援のためお忘れなく年会費の払込みをお願い致します。

年会費の払込みには従来の郵便振替、銀行振込、自動引落し、コンビニ払いに加えて、スマホ決済もご利用頂けるようになり、益々便利になっています。スマホ決済は、会費の払込取扱票（郵便振替用紙）の通信欄に記載のバーコードを決済アプリで読み込むことでお支払いを進めて頂けます。払込取扱票が付いている会報が届いている方は是非一度お試し下さい。

自動引落しも引き続き絶賛受付中です。次年度から自動振替をご希望の方は、今年度分の年会費払込みの際に払込用紙の通信欄に「自動振替希望」とご記入頂くか、お電話にて事務局（TEL 029-226-3960）にご連絡下さい。

財務委員会では、払込み方法の多様化を含めて更なる利便性向上の検討を進めて参ります。

名簿委員会

2023年名簿発行のお知らせ

この度2023年（令和5年）版会員名簿が無事発行されました。申し込みをいただいた方のお手元に届いていることと思われまふ。名簿発行にあたり会員の皆様のご支援とご協力を賜りましたことに、発行に携わりました者一同心より感謝申し上げます。

前回名簿が発行された2018年（平成30年）から5年間に情報をめぐる情勢はICTやSNSの著しい発展を始め大きく変化し、連日の様に報道される特殊詐欺事件に各地の学校

の卒業名簿が利用されるという残念な事例の報告もありました。この様な中で今回名簿の発行にあたってはその是非を含め検討を重ね、電話番号を不掲載とさせていただきます。当名簿につきましても、慎重なる取り扱いを改めてお願い申し上げます。今後当委員会では、よりよい名簿のありかたにつき検討を重ねていきたいと考えておりますので、会員の皆様からもご意見等いただけましたら幸いに存じます。なお、今回から不正入手等防止のため、名簿の販売を事前に予約された方のみに限っております。事務局での購入は出来ませんのでご了承下さい。

親睦委員会

コロナの影響でなかなか親睦行事も出来ずにいましたが、10月5日（木）に知道会親睦ゴルフをスタート空間ゴルフ倶楽部にて開催すべく企画を進めています（この会報がお手許に届く頃の開催です）。今回は東京知道会との共催で、8月末時点で41名の方々に参加申し込みをいただいております。今後も親睦行事の企画は随時知道会ホームページ等でご案内して参ります。

広報委員会

知道会報は、令和5年度よりweb発行併用となりました。102号より、紙での発行は秋の年1回となり、偶数号（春発行）はweb、奇数号（秋発行）は、印刷にて全会員の皆様に郵送いたします。偶数号・奇数号ともweb版の会報はカラー掲載です。ぜひ知道会HPよりご覧下さい。なお、昭39卒以前の会員の皆様には、従来通り、春・秋の年2回郵送いたします。母校と知道会、そして会員の皆様同士を繋ぐツールとして、幅広く情報を掲載して参ります。

知道会に寄附をいただきました

（令和4年10月～令和5年8月末）

- ・昭和47年卒「古希を祝う同窓会」
- ・平成3年卒同窓会
- ・水戸一高ボクシング部OB会
- ・細谷光久様（昭和42年通卒）
- ・磯前昌宏様（平成3年卒）
- ・桑名淳一様（平成21年卒）

上記の皆様から、知道会にご寄附をいただきました。お寄せいただいた寄附金は、母校支援のため有効に使わせていただきます。ありがとうございました。

ホームページから登録内容の変更手続きができます！

◎会員情報変更フォーム <https://chidokai.jp/desk/r-form/>

その他お問い合わせ chidokai_mito@chidokai.jp

事務局 月・水・金（祝祭日を除く）10:00～15:00

来局の際は、事前にご連絡をお願い致します。



学校基本データ

学校創立 1878年（明治11年）10月2日

令和5年 創立145年

同窓会員数 40,092名

住所判明者数 23,202名

在籍生徒数 高校 767名（男子462名 女子305名）

中学 240名（男子120名 女子120名）

（令和5年8月現在）